

小松市未来型図書館等複合施設整備・運営事業に係る
PFI アドバイザリー業務プロポーザル審査結果

1. 審査（プレゼンテーション審査）

参加資格を満たした2事業者に対して、審査（プレゼンテーション審査）を行い、最も多く第1位の順位を獲得した事業者を当該委託の受託候補者として特定した。

	A社	B社
第1位順位獲得数	0	4
第2位順位獲得数	4	0
評価得点の合計点	238.75	326.25
平均点	59.69	81.56
順位	第2位	第1位

（評価得点の内訳）

審査項目 （配点）	A社	B社
業務実績・実施体制 （30点×4人）	75.00	110.00
企画提案 （60点×4人）	137.50	187.50
プレゼン・価格評価 （10点×4人）	26.25	28.75
合計 （100点×4人）	238.75	326.25

（審査項目及び評価基準）

評価項目		内容及び評価方法	配点
業務実績・業務体制	業務の実績	○国又は地方公共団体が発注する複合施設の PFI アドバイザリー業務に関する業務の「業務実績数」及び「業務概要」をもとに、本業務で必要な知見、専門的な知識を有しているか評価する。	10
	業務の実施体制	○統括責任者及び実務担当者の「担当業務」及び「国又は地方公共団体が発注する複合施設の PFI アドバイザリー業務に関する業務の経験の有無」をもとに、本業務への適正な人員が確保されているか評価する。 ○「業務実施組織図」及び「体制の特徴」をもとに、本業務への十分な実施体制が確保されているか評価する。	10
	業務の統括責任者	○統括責任者の「業務実績数」及び「業務概要」をもとに、本業務に必要な知見、専門的な知識を有しているか評価する。	10

企画提案	業務の実施方針の適正さと提案事項の有用性	○基本計画をもとに、本業務における事業条件(事業内容、事業期間、施設の規模、PFI 事業の範囲、リスク分担等)を十分に理解した方針が示されているかを評価する。	10
		○審査委員会の委員選定の支援や運営について、委員会の役割や必要となる検討事項の具体的な内容等が妥当であるか、独自の提案や追加の提案がなされているか評価する。	5
		○PFI 法に基づく実施方針の作成について、その方法・内容等が妥当であるか評価する。 ○要求水準書の作成について、事業の目的を踏まえた施設整備及び運営維持管理のサービス水準やリスク分担に対する内容をどのように捉えているか評価する。	10
		○特定事業の選定について、事業条件等をもとにした定量・定性的評価など、その方法・内容等が妥当であるか評価する。	10
		○募集事項等の作成について、民間事業者の募集・選定の方法・内容等が妥当であるか評価する。	5
		○審査に係る支援について、その方法・内容等が妥当であるか評価する。 ○基本協定及び事業契約の締結について、契約協議に係る論点整理や専門家による支援の方法・内容等が妥当であるか評価する。	5
		業務工程の妥当性	○本業務の契約締結以後から PFI 事業における民間事業者との事業契約締結まで、本市で示す業務スケジュールに即し、具体的に業務工程の想定がなされているか評価する。
	自由なアイデアによる提案	○自由なアイデアによる提案の有用性を評価する。	10
その他	プレゼンテーション	○プレゼンテーションにおいて、業務に取り組む意欲が高く、熱意が感じられるか評価する。 ○わかりやすく、説得力のある提案であるか、質疑への応答は適切であるか評価する。	5
	価格評価	○企画提案書と見積内容の整合性が取れており、価格が妥当なものであるか評価する。	5

(審査委員からの評価コメント：審査)

	審査項目	主な評価内容
	業務実績 実施体制 統括責任者	<p><業務の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ○業務実績数は限られるが、必要な知見・経験は有している。 ○事業候補地の特性を活かした仕組みや新しい制度設計を行うなど、実績を有する。 ○公共の設計を経て複数のアドバイザリー業務の経験もあり、評価する。 ○業務実績数としては少ないが、本業務に類似した業務実績を有し、ノウハウの活用が期待される。 ○業務実績数は1件と少なく、業務実績の内容についても、今回、市が求めている内容に一部達していない印象を受ける。 <p><実施体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小松のことをどれだけ理解しているかという点で疑問はあるが、統括責任者は必要な知見・専門的知識を有しており、一定の業務実施体制は確保されている。 ○アドバイザリー業務の経験を有する担当者の配置、建築、法務担当者などの担当者の配置はなされているが、多面的な機能を有する複合施設の要求水準書作成にあたって知見を有する担当者の配置については、実効性のある業務実施体制となっているか疑問な部分がある。 <p><統括責任者></p> <ul style="list-style-type: none"> ○統括責任者を2名体制とし、互いに異なる経験から対応できる幅が広がる点は評価に値する。
A社	企画提案	<p><事業条件の理解などについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業条件を整理し、理解した上で方針が示されていることについて、評価できる。 ○芦城公園周辺も含めた一体的な総合プロジェクトとしての認識や官民の対話、民間事業者との対話を重視している点は評価する。 ○基本計画の論点をより整理し、事業条件などについて、より詳細な考え方が示されると良い。 ○基本計画に示すような市民との共創に対する考え方が示されていない。 <p><審査委員会の支援や運営などについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業運営やモニタリングに際し、KPIを設定する点や培ったコネクションを活かし専門家を選定する点、審査員が審査しやすい環境を整える点など評価する。 ○審査委員会の委員選定の支援や運営について、具体的な内容のものは明確に記載されていないが、独自の提案がなされている。 ○具体的な審査委員のイメージが十分でなく、限られた時間の中で、委員会の組成、業務開始などに課題があると感じる。 ○委員会の開催回数は、実施方針作成から募集、事業者選定に至るまでに十分でないと感じる。 <p><実施方針や要求水準書の作成について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な内容を抑えており妥当なものである。 ○官民の対話を重視している点は評価する。 ○要求水準書の作成に係る、事業の目的を踏まえた施設整備及び運営維持管理のサービス水準やリスク分担に対する内容について、具体的な

	<p>提案が不明確である。</p> <p><特定事業の選定について></p> <p>○事業条件等をもとにした定量・定性的評価など、その方法・内容等が妥当であり、評価できる。</p> <p><募集要項の作成について></p> <p>○民間事業者の募集・選定の方法・内容等が妥当であり、評価できる。</p> <p><全体を通して></p> <p>○PFI 事業が円滑に推進するための説明会等の開催や支援方法について、評価する。</p> <p>○企画提案書と見積内容の整合性が取れており、価格が妥当なものとなっている。</p> <p>○業務に取り組む意欲が高く、熱意が感じられ、評価できる。また、質問に対する回答も適切であり、評価できる。</p> <p>○一部に独自性のある提案があった点は評価できるものの、官民双方の事務的な負担及び実施方針作成等への影響、事業スケジュールなどと照らし合わせた中での実効性・有用性には課題があると感じる。</p> <p>○基本計画を踏まえた論点の整理が不十分と感じる。</p>
--	--

	<p>業務実績 実施体制 統括責任者</p>	<p><業務の実績> ○PFI 事業による複数の実績を有しており、十分な経験・知見・知識を有すると感じる。また、官民の共創も重視している点を評価する。 ○新たな複合施設の整備や既存施設のリノベーションなど、多様な事業手法での実績を有する。 ○業務の進め方も事業者や住民との対話を通じた事業条件の設定等の実績があることから、本事業においてそのノウハウ活用が期待できる ○官民の共創を重視している点や事業者の公共心を育ててきている点、民間収益事業のカフェの実績など、本業務と共通事項が多い点を評価する。</p> <p><実施体制> ○アドバイザー業務の経験を有する担当者の配置、多面的な機能を有する複合施設の要求水準書作成にあたって知見を有する担当者、建築、法務担当者など、実効性のある業務実施体制となっている。</p> <p><統括責任者> ○多様な事業分野における PFI アドバイザリー業務の実績を有しており、十分な経験・知見・知識を有する。</p>
<p>B 社</p>	<p>企画提案</p>	<p><事業条件の理解などについて> ○基本計画の思想を十分に理解しており、実績に基づいた知見や仮説などから、新たなアイデアに期待がもてる。 ○事業条件の整理にあたっての重要な論点としている「事業費の設定」について、競争的環境の構築なども踏まえた考え方・アプローチの方法が分かりやすく示されている。 ○提案により民間事業者の創意工夫によるサービス向上に係る部分と事業コストを抑制する部分との関連性が一部不明確な部分があった。</p> <p><審査委員会の支援や運営などについて> ○審査委員会の委員選定の支援や運営について、具体的なイメージとともに、独自の提案がなされていることから、評価できる。 ○具体的な審査委員の候補者がイメージされており、委員会の組成、業務開始が比較的容易であると考えられる。審査委員会の開催回数も運営方法に記載があるとおり適切であると感じる。</p> <p><実施方針や要求水準書の作成について> ○ビジョン、コンセプトに基づいた具体的なイメージができている。市民共創の実現のイメージも構築している。 ○実施方針について、より具体的な内容が想定されており、妥当であると評価する。 ○要求水準書の作成について、リスク分担に対する内容の論点を多く想定している。 ○要求水準書の作成について、一部、民間事業者が達成すべき基準として客観的な数値などの基準設定など具体的な考え方が分かりにくい。</p> <p><特定事業の選定について> ○事業条件等をもとにした定量・定性的評価など、基本計画をもとに、その方法・内容等が整理されており、妥当・評価できる。</p> <p><募集要項の作成について></p>

	<p>○競争的対話の実施、事前準備を主とした対話を成していく点を評価する。</p> <p>○民間事業者の募集・選定の方法・内容等は妥当であり評価できるが、競争的対話では、公表されない部分も想定されるため、実施時には慎重を期す必要があると思われる。</p> <p>○設計・建設・管理運営段階におけるモニタリングの基本方針作成の考え方が具体的に示されている。</p> <p><全体を通して></p> <p>○本業務の背景を理解し、基本計画をもとに、事業条件の整理やサウンディング調査、参考見積等の取得・分析まで方針が示され、十分に評価できる。</p> <p>○厳しい市況の中での実現性、競争環境の構築、共創型 PFI の実現、市民共創の体現など、事業化のイメージが明確である。</p> <p>○応募グループ数や提案書類によっては、審査には多大な時間と労力を要することが予測される中、審査委員や事務局の負担を軽減するための方策の提案がなされている。</p> <p>○業務に取り組む意欲が高く、熱意が感じられる。また、わかりやすく、説得力のある提案であり、質問への回答は適切であった。</p> <p>○実施方針等の作成に係る事業者との対話、特定事業の評価・選定・公表、募集・提案・審査・事業契約締結までのスケジュールについて、審査委員会の開催時期・回数も含めて詳細に作成されており、実効性が高いと評価する。</p> <p>○競争的対話の実施、事前準備段階からの対話を成していく点を評価する。</p> <p>○市民共創の視点は重要だが、提案内容が想定範囲を超えていない。</p>
--	--